令和４年度　防衛大学校卒業式
浜田 防衛大臣訓示

本日、岸田 内閣総理大臣御臨席のもと、防衛大学校の卒業式の挙行にあたり、防衛大臣として一言申し上げます。

卒業生諸君、卒業おめでとう。そして御家族の皆様に心からのお祝いを申し上げます。

諸君はここ小原台で、「広い視野、科学的思考力、豊かな人間性」を涵養し、先輩、後輩そして同期との強い絆を結び、それぞれ人として大きく成長したものと思います。

今後諸君の多くは、昨年末に策定された新たな戦略文書で示された指針を、安全保障の現場で具現化する役割を担うこととなりますが、特に防衛力の中核である自衛隊員が能力を発揮するためには、多様性を重んじる組織環境を整備することが必要不可欠であります。自衛隊全体でも女性隊員が増え、性別を問わず優秀な人材が活躍できる環境を整備する必要が一層高まっています。これから幹部自衛官として自衛隊の中核を担っていく卒業生諸君には、特に隊員同士の信頼関係を作ることが極めて重要であることを肝に銘じ、より良い勤務環境の整備に尽力されることを強く求めます。

また、本日ここにいる卒業生諸君の中には、様々な考えや事情があり、自衛隊の外に進むことを決めた学生もいると承知しています。どうか、防衛大学校卒業生として、今後自衛隊を応援していただきたい。そして、諸君自身もまた、防衛大学校で同期とともに得た知識や経験を活かし、社会のため、ひいては我が国のために貢献していただきたいと思います。

留学生の皆さん、言語や習慣などの違いを克服し、この日を迎えられたことに敬意を表します。小原台で培った友情が、時を経るごとに堅固なものとなり、皆さんの母国と我が国との絆を力強く支えてくれることを大いに期待しております。

研究科を卒業する諸君。不確実性を増す国際情勢に的確に対応するため、あるいは長足の進歩を遂げる技術を活かすため、諸君が研究科で培った能力をそれぞれの進路で発揮されることを望みます。

最後に、立派な卒業生を送り出してくれた久保学校長をはじめとする教職員各位に敬意を表するとともに、日頃から防衛省・自衛隊に多大なる御支援を賜っております来賓各位に篤く御礼を申し上げまして、私の訓示といたします。

令和５年３月２６日
防衛大臣　浜田　靖一